

議長（志村 忠昭）

以上で尾崎忠義議員の発言を終わりますので、よろしくお願ひしたらと思ひます。

これをもつて10番、尾崎忠義議員の質問を終わります。

ありがとうございます、ちよつと時間過ぎましたけれど。

また、答弁ができてないところはここへ聞いてください。

次に3番、金井浩三君。

議員（金井 浩三）

先に、質問書に誤字がありますので、訂正させていただきます。

質問書の5段目、「市長」とありますが、「長い」でなしに「町」の「ちよつう」です。

すみません、よろしくお願ひします。

それでは、3番、金井浩三、一般質問させていただきます。

多度津町が今後40年間で必要になる公共施設、インフラ更新費用について。

2月2日の四国新聞に、県内9市町自治体が今後30から50年間で公共施設、インフラの更新費用が少なくとも2兆6,000億円に上ることが日本政策投資銀行四国支店の推計で分かつた。

公共施設など管理計画を定めている県と9市町の合計金額である。

9市町は、高松市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、そして町は土庄町、三木町、そして多度津町です。

そして、多度津町が2014年から2053年、40年間で総額519億2,000万円となっています。

同支店の推計は、昨年12月時点で公共施設等総合管理計画や公共施設等白書を作成し公表している県と6市3町となっています。

公共施設は、各自治体の庁舎や教育文化施設、福祉施設、学校など。

インフラは、道路や上下水道などを指すと新聞に載っています。

そこで、お尋ねします。

今後、どの施設をいつごろいくらの予算で更新計画をしているのかお伺ひします。

よろしくお願ひします。

町長（丸尾 幸雄）

金井浩三議員のご質問、今後どの施設をいつごろいくらの予算で更新計画をしているのかについてお答えをしまひります。

現在、日本全国において、高度成長期に整備された多くの社会インフラが更新時期を迎えており、各自治体は老朽化した公共施設を補修、建てかえを行う必要に迫られております。

また、その一方で少子・高齢化社会の進展、地方における過疎の進行等、社会経済情勢が変化していく中で、多様化する住民ニーズに対応し、住民満足度の高い行政サービスを提供していくことが求められております。

公共施設等総合管理計画は、そのような状況の中、財政事情、人口動態、各施設の利用状況を踏まえ、長期的視点に立った適正な対策を推進し、計画的な施設の維持管理を進めていく指針となるものであり、本町におきましても、基本構想として、平成26年度末に多度津町公共施設等総合管理計画を策定したところであります。

同計画では、四国新聞の記事にもありましたとおり、公共施設とインフラ全体の今後40年間の更新費用推計として、全施設に大規模改修を実施し、現状規模のまま更新を行った場合、519億2,000万円の投資的経費を必要とし、年平均で13億円がかかるとの試算となっております。

公共施設とインフラ全体の過去の5年間平均の投資的経費は、約10億4,000万円であることから、年2.6億円の財源不足が発生することとなります。

現在の公共施設等総合管理計画は、あくまで基本構想との位置づけであり、個別施設の維持管理費用の算定ができていないため、来年度同計画のフォローアップとして各施設の利用状況や維持費用等を分析し、施設ごとの更新費用推計を算出する予定としております。

この個別施設ごとの更新費用推計の算出後、施設ごとにどのような老朽化対策を行っていくべきか、各施設所管課を中心に検討し、個別施設管理計画を策定していきたいと考えております。

また、施設の更新に係る費用については非常に多額となることから、国の計画に基づく公共施設等の除却に係る地方債の特例措置を有効活用するなど、財源の確保に努めてまいりたいと考えております。

公共施設を活用した行政サービスは、住民の暮らしに密着した重要なものであることから、丹念な実態調査をもとにした現状の把握を行い、町の将来像を見据えた検討や取り組みを行ってまいりたいと思いますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げて、答弁とさせていただきます。

議員（金井 浩三）

今、丸尾町長が基礎構想として平成26年度に多度津町公共施設等総合管理計画を策定したとありますが、そしたらこのときの計画の中で私が一番気になっている公共施設の町役場、福祉センターはいつごろどのような予算で計画されたのですか。

お答えをお願いします。

総務課長（矢野 修司）

ただいまの金井議員の再質問にお答えをいたします。

先ほど、町長の答弁の中にもございましたように、今回新聞報道されました事業費、公共施設及びインフラに要する事業費の519億2,000万円、これにつきましては全て大規模改修を実施をして現状規模のまま更新をするという前提の上で計算をした額でございます。

あわせて、今後それぞれの公共施設を所管する課のほうで、今現在できております計画の、あくまでも基本構想的なものであります。

そういった意味で個別計画として、再度申し上げますが、公共施設等を所掌しとります所管課のほうで個別計画を今からつくり上げていく中でその詳細が明らかになっていくというふうにご理解をいただけたらと思います。

そういった意味合いで、平成26年に策定をいたしました同計画の中では、ご質問の庁舎に関する個別的な計画等については掲載ができておりません。

それを、今から議員皆様のご意見をいただきながら考えていかなければいけないというふうなところかと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（金井 浩三）

今から個別的ないろいろな施設の金額を出していくということなんですが、そしたらこのとき、519億2,000万円という金額はどこから出てきたのですか。

お願いします。

総務課長（矢野 修司）

私の理解といたしましては、決算統計の中の数字をもって算出していると理解をしております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（金井 浩三）

すみません、矢野課長、もうちょっと詳しく言ってくれませんか。

よろしくお願いします。

総務課長（矢野 修司）

ただいまの質問でございますが、簡単にという説明の仕方が今現在説明する言葉として持ち合わせがございませんので、若干お時間いただいてまたお答えをさせていただきたいというふうに考えておりますが、ご容赦いただきたいと思います。

議員（金井 浩三）

すみません、課長、もう少し詳しく。

簡単でなしに詳しく説明してください、よろしくお願いします。

総務課長（矢野 修司）

失礼をいたしました。

再度、金井議員のほうより詳しくというようなご指摘がございましたので、説明をさせていただきます。

一応、先ほど申しました519億2,000万円、この全体事業費でございますが、その推計に当たっての条件ということで説明をさせていただきます。

まず1点目でございますが、事業費ベースでの計算とするということでございまして、その計算方法につきましては、耐用年数経過後に現在と同じ規模、つまり建物でありましたら延べ床面積等で更新するというような条件を仮定しております。

延べ床面積に単価、これは更新するための単価でございますが、それを掛けたものを事業費というふうに算出をいたしております。

その更新単価でございますが、更新費用の試算に取り組んでおります調査実績に基づいて、これは計画を策定した当時のことでございますが、公共団体の調査実績、設定単価をもとに用途別、公共施設と学校も含めてのことでございますが、公共施設の用途別に設定をされました単価をもとに計算をするということでございます。

もちろん、この中には解体費用、また移転費、また設計料、それらについても含んで計算をするという、今申し上げたような条件の中でもって計算をした総額が519億2,000万円であるというふうにご理解をいただけたらと思えます。

これでよろしいでしょうか。

よろしく申し上げます。

議員（金井 浩三）

今、課長から説明いただいたんですが、各施設の個々の金額がなかったら積み上がっていきません、519億2,000万円。

僕はそれをちょっと聞きたいんですけれど。

町役場の場合、この延べ床面積、福祉センターの場合、延べ床面積、いくらでこのとき査定したのか。

よろしく願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

金井議員のご質問にお答えをしてみたいです。

今の計算上、519億円でしたっけ、ていうのは今まで公共施設がたくさん多度津町では建設をしております。

その40何年間の中で必ず老朽化をしてみたいです、それを建てかえをしなければいけない。

その公共施設というのは、全てが町の財産、公共施設になります。

それを、全てを建てかえをするということに関しましては、今の現状維持の

ままで建てかえをするということになりますから、当然当初つくられたときの試算ですね、建設費をもとにして、今度それを建てかえするときどのくらいの費用がかかるのか、また今の施設を潰すのにどのくらいの費用がかかるのかということでもあります。

それを算定するとそういうふうな数字になるということでもあります。

よろしいでしょうか。

簡単に分かりやすくご説明を申し上げました。

議員（金井 浩三）

すみません、僕の質問はもうちょっと踏み込んだんですけど。

その全体の金額でなしに、519億円というんは、いろんな施設とかインフラを積み重ね上げた結果、519億2,000万円で、そして僕が一番気になるのは公共施設の中で町役場、福祉センターはいくらで見積もりをしたんですかという。

よろしく願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

金井議員のご質問にお答えをしてみたいです。

まずは、この役場庁舎は平成26年当時、もっと前は役場の庁舎を建てかえをする場所というのはまた別のあるところに予定というのか考えておりました。

そのときの金額も一応ある程度のことは考えておりましたが、その地区が大きな地震が起こったときに浸水エリアになるということで、その場所ではそこでかさ上げをしないと建てられない。

そうなってくると、また建設費がかさんでいくということで、そこは、今そこまではできないんじゃないかという中で、先ほどから申し上げておりますような場所の移転、建てかえです、それを今検討しているというところでもあります。

そのことにつきましての建設費用というのは、具体的な建設費用はまだ出ておりません。

その答弁をさせていただきます。

議長（志村 忠昭）

ちょっと、行き違いばかりがあるようですんで。

議員（金井 浩三）

この26年に、この計画書をつくった時点でいくら金額になったんですか。

議長（志村 忠昭）

金額は出てないということです。

議員（金井 浩三）

積算ができてなかったら、519億2,000万円。

総務課長（矢野 修司）

再三失礼をいたします。

要は、個別施設の価格がわからなければその積み上げ額としての519億2,000万円が出てこないのではないかというご質問だと思います。

申し訳ございませんが、26年に策定した管理計画、この中でその個別計画ごとの価格というのを、再建築価格とでも申しますか、そういった価格をその計画の中で提示することには何らかの支障があったのではないかというふうに考えております。

そういったことで、この計画の中では各施設ごとの平米単価あるいは面積というのは施設の用途ごとには掲載はされておるんですが、具体的に金井議員がご質問されましたように、庁舎であれば何平米で、平米単価がいくらやから再建築するとしたらいくらというような個別のデータというのは、この計画の中では載っておりません。

ただ、519億2,000万円を計算するためには、論理的に考えるとそういった数字がなければ積み上げとしてはできませんので、この計画には載っておりませんが、データとしては当然あるべきものというふうに理解しております。

そういったことで、行政系施設で庁舎などという表現がこの中にもございますが、3,586平米、それと同時に平米単価でいいますと、大規模改修では平米25万円、建てかえでありますと平米40万円という、こういった数字は掲載されておりますが、かといって庁舎の建てかえにそれを掛け合わせて出るのはどうかは、ちょっとこの場では申し上げることはできませんが、個別のデータとしての庁舎建てかえにいくらかかる、町営住宅の建てかえにいくらかかる、これこれ道路のやりかえにいくらかかるといったような個別データを掲載するような計画ではございません。

先ほどの町長答弁の中にもございましたように、これはあくまでも基本構想という位置づけで非常に大枠の話でございます。

今からその施設を管理します所管課のほうで、個別計画を立ち上げる中で、今、金井議員がご質問されたような数字が明確になっていくと思っておりますので、その点ご理解をいただけたらと考えております。

議員（金井 浩三）

これで今回質問を終わらせていただいて、何か分かりませんが。

ありがとうございました。